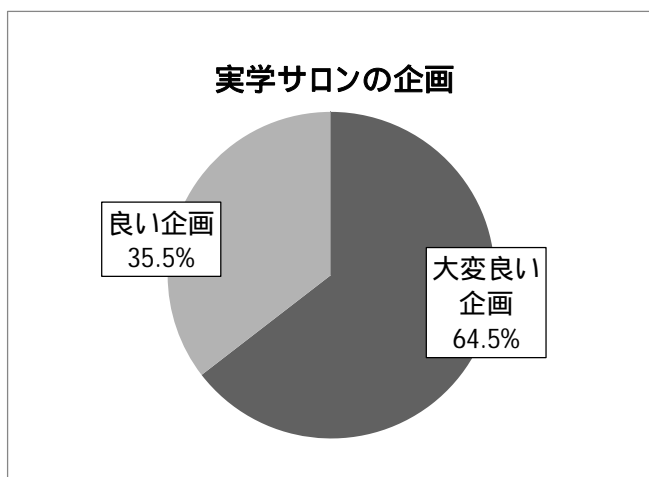


第13回 実学サロン 2015年2月27日(金)

「実学サロン」のアンケート結果を整理しましたので報告致します。
出席者（講師を含めて）34名、回答数 31名（回答率：91.2%）

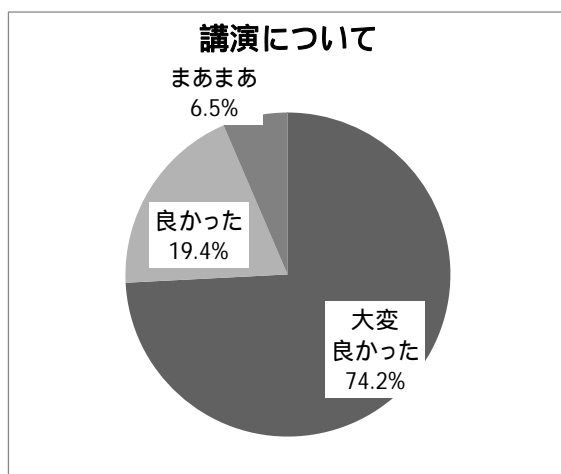
Q1：校友向けの実学サロンの企画について <総合評価：4.6点>
大変良い企画だ（20名） 良い企画だ（11名） まあまあ（0名）
やや企画として不満（0名） 改善すべき点が多い（0名）



コメント：

- (1) なかなか普段聞くことのできないお話しでした。
- (2) ある程度クローズドな企画なので、きわどい話もあったり、大変面白い。
- (3) 自分が未経験の内容の話聞くことが出来て、初めて耳にする文言も沢山出てくる。
- (4) 新聞に関する分析はあまり（聞く）機会がないので面白かった。

Q2：第13回実学サロン <総合評価 4.7点>
『メディア興亡のメカニズム - 「新聞はネットに食われている」は本当か? -』の講演について
（講師：(株)朝日新聞社 製作本部企画監理チーム システム監理担当部長
平成22年大学院工学マネジメント研究科修了 馬場 康志 氏）
大変良かった（23名） 良かった（6名） まあまあ（2名）
やや不満（0名） 改善点が多い（0名）



コメント：

- (1) 業界の見方に違った切り口を与えてくれた。
- (2) ネットでなくテレビに食われているということが良く分かった。
- (3) グラフなどチャートが多く、分かり易かった。
- (4) ・時代効果、年齢効果、世代効果などの市場分析、・シナリオプランニングの投資判断、・破壊的イノベーションの法則、・状況判断・・・市場対応、経営に重要な項目を改めて知りました。
- (5) とても面白かったです。
- (6) 良く分析する上で、異なるものを比較するが、その対象とする母体が違うのに一緒にしているという点で、異なった視点から見ることができた。
- (7) 大変勉強になりました。ありがとうございます。
- (8) 分かり易かった。
- (9) 新聞創りの世界の興味深い話であったし、マスメディアの時代を追っての盛衰の話が面白い。
- (10) グラフを多用して分かり易かった。

Q3：今後の実学サロンのテーマの希望または推薦したい講師

- (1) 希望するテーマ：IT, 製造業、これからの日本、講師：阿部剛士（インテルジャパン）
- (2) 希望するテーマ：ステレオ3D、講師：中村先生
- (3) 希望するテーマ：日本のIT企業の将来、推薦講師：國井先生（芝浦MOT）（*講師は校友会会員から選んでいます）
- (4) 希望するテーマ：ICTを社会ソリューション、推薦講師：吉田廣
- (5) 推薦講師：五十嵐久也理事長

Q4：実学サロンについて、自由な意見をお願いいたします。

コメント：

- (1) これからも続けて開催して欲しい。
- (2) 3回目の参加ですが、毎回興味深く聞かせて頂いています。
- (3) 楽しみにしております。
- (4) 今後も継続して下さい。
- (5) 今後もこの様な企画をして欲しい。
- (6) 継続的な開催をお願いします。
- (7) 聴講者の数が少ないのが気に掛かる。もっと集客する術を考えるべきだ。

Q5：次回の実学サロンの案内をメールにて希望の方は、メールアドレスと氏名を、FAXの場合はFAX番号と氏名（所属を含む）などを記入ください。

メールアドレス：8名（前回13名）が記入した。

住所：5名（前回7名）が記入した。

FAX：2名（前回3名）が記入した。

その他、ご意見、ご感想（裏面）

- (1) 日本ではそうだが、外国はどうなの？新聞やめても良いのか・・・ページ数がこんなに増える？広告ですか？車どうなる？
- (2) MOTを軸とした講演はとても貴重な機会なので、定期的に続けて欲しい。
- (3) 新聞は読むのに電気が不要。情報を選択しないで入ってくる。そう言う点で、他のメディアと異なると思います。
- (4) 実学教育講座で始まった本サロンが13回も続いてきたことは喜びであります。

(5) 世代をつくる特徴が社会を動かしていると感じた。有難うございました。

(6) 実学サロンで紹介頂いた資料 (プロジェクトに写していた資料) が欲しい。あるいは校友会HPでもいいので載せて欲しい。

以上